

手足症候群について

カペシタビン錠「日医工」を服用される方へ

お薬を服用すると副作用が生じることがありますが、予防や早めに対応することで症状を軽くする可能性があります。手足症候群について、以下のことに注意し、カペシタビン錠「日医工」を服用してください。

■ 手足症候群とは？

カペシタビンによって起こりやすい副作用の1つです。

手のひらや足の裏にしびれ、チクチクまたはピリピリするような感覚、やけどした時のような痛み、赤い腫れ、水ぶくれなどが起こります。治療を始めてから16週くらいまでに起こることが多い副作用です。



重篤副作用疾患別対応マニュアル(手足症候群)：平成22年3月厚生労働省

■ 症状の程度

手足症候群は症状が軽い初期段階のうちに対処すれば、改善する場合があります。治療が始まったら自分の手のひらや足の裏をよく観察してください。以下のような症状に気づいたら、主治医にご連絡ください。

軽い

日常生活に支障が無い

しびれ、物に触れたときに不快な感覚がある、ピリピリ・チクチク感、腫れ、赤み、爪の変形

症状

痛みを伴い日常生活に制限がある

痛みのある腫れ、痛みのある赤み、皮膚表面が硬く、厚くなりガサガサする・ひびわれ、爪が大きく変形する・はがれる

重い

強い痛みがあり日常生活を送ることが困難

水ぶくれ、より強く皮膚表面が硬く、厚くなりガサガサする・ひびわれ、手や足の激しい痛み、皮膚のただれや傷

■ 予防, 悪化防止のための日常生活の注意点

■ 刺激を避ける

- 長時間の歩行や立ち続けることは避けましょう。
- 柔らかい素材で足にあった靴をはくようにしましょう。
- きつい靴下をはかないようにしましょう。
- 炊事, 水仕事のときはゴム手袋などをつけましょう。
- 熱いお風呂やシャワーは控えましょう。



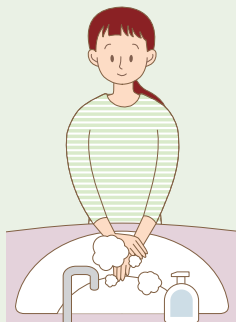
■ 皮膚の保護

- 厚めの靴下や柔らかい中敷きを使って, 足を保護しましょう。
- 保湿剤を使って, 皮膚を保護しましょう。



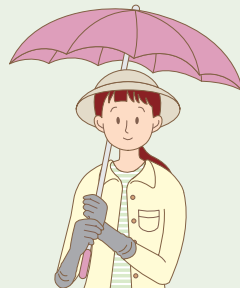
■ 感染予防

- 手足を清潔に保ちましょう。



■ 直射日光を避ける

- 外出時には帽子, 日傘, 手袋などを使ったり, 日焼け止めクリームを塗って, 直射日光に当たらないようにしましょう。



■ 手足症候群の対処方法

- 明らかな手足の痛みを感じたときは, 主治医にご相談ください。
- 主治医と相談の結果, カペシタビンの服用を一時的にお休みすることがあります。
- 服用をお休みすることにより, 症状は改善します。
- 症状が改善した後, 主治医の判断により, 再度カペシタビンの服用を再開します。このとき, 服用量を減らす場合があります。また, 保湿剤やステロイド外用剤などが使用されることもあります。

これら以外にも気になることがございましたら, 主治医または薬剤師にご相談ください。